

第 45 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2010 年 1 月 27 日(水) 16 時 15 分～17 時 20 分

場所: 管理棟 2 階 第二応接室

出席者: 横山孝男部会長、松田則男、神戸士郎、奥山澄夫、大町竜哉、新関久一、高畑保之、山崎洋一郎、結城敏夫、片山政弘各委員、小室秀一編集局員、小関栄助氏、細谷朋浩氏((株)ぎょうせい)、村田久氏((株)ぎょうせい)、石田治氏

欠席者: 栗野宏、小山明夫、小池邦博各委員、斎藤ひろみ編集補助員、

【配布資料】

- [資料 45-1] 「多氣と文学」小関栄助氏 [A4 判 3 枚 / 5 ページ]
- [資料 45-2] 「百人の声」原稿執筆依頼状況 2010 年 1 月 26 日現在 [A4 判 2 頁]
- [資料 45-3] 「百人の声」「大学時代の思い出」土井通氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-4] 「百人の声」「プロミスト・ランド(約束の地)」高橋寛典氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-5] 「百人の声」「グラスウール基体新製品開発における山岳連携の胎動」高橋幸三氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-6] 「百人の声」「学生たちへのメッセージ・ライフワークをどうみつけるか」三留謙一氏 [A4 判 2 頁]
- [資料 45-7] 「百人の声」「山形大学で培った創造力」酒井豊氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-8] 「百人の声」「エンジニアに求められる技術マネジメント力」藤本祐司氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-9] 「百人の声」「鉄道車両近代化の波に乗る」江辺純三氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-10] 記念誌年代記校閲担当割当について [A4 判 1 頁]
- [資料 45-11] パトリアの学府 (目次、百年の年代記、第 1 章、第 2 章) [A4 判 13 枚 26 頁]
- [資料 45-12] 山形大学工学部百周年記念誌『パトリアの学府』台割表 [A4 判 1 頁]
- [資料 45-13] (記念誌) 百人の声 版組見本 [A3 判 12 頁]
- [資料 45-14] 「空から見る米沢キャンパス今昔」(今月の話題・奥山澄夫委員) [A4 判 1 頁]
- [資料 45-15] 工学部通史執筆進捗状況 (2010.1.27 百年史編纂室) [A4 判 2 頁]
- [参考資料] 「新現役チャレンジ支援事業」 中小企業基盤整備機構パンフレット

I) 報告&連絡事項

1. 最初に、ライター石田氏の紹介があった。氏には米沢工業会の記事を執筆していただく。
2. 小室編集局員から昭和 35 年以降の写真収集状況に関する報告があった。
3. ホームページの更新に関する報告があった。
 - (1) 写真アーカイブスに米沢工業会から提供いただいた写真を掲載した。
 - (2) 平中幸雄教員の今月の話題を公開した。
4. 大竹多氣記念室(仮称)について、横山部会長から報告があった。
 - (1) 100 周年記念事業実行委員会の総務部会に議案として提出し、工学部として対応した方がよいという共通認識を得た。
 - (2) 記念室は本館(重要文化財)内では無く、耐火構造の建造物内に設置することが望ましい。現在、図書館長と折衝中である。図書館の教員閲覧室の稼働率が低いので、教員閲覧室 2 部屋を 1 部屋として、記念室に充当する可能性がある。
 - (3) 資料等の受け入れ規則を制定する必要がある。現在編纂室を中心に検討中である。

II) 協議事項

1. 100周年記念誌

- ① 「米沢高等工業学校初代校長 大竹多氣」について資料 45-1 に基づき、小関栄助氏から説明があった。
 - 1). 大竹多氣が大竹みどり、大竹美鳥、大竹碧などのペンネームで多くの文学活動をしていることがわかった。
 - 2). これらの調査結果について、100年記念史誌部会のウェブサイトで公開してはいかかという意見も出されたが、学会や学術誌で発表した方が良いであろう、そのためにはウェブサイトで公開することも発表する行為になる可能性があるため、避けた方が良いだろうということになった。学会や学術誌で発表したのち、公開することとする。
- ② 「百人の声」原稿執筆依頼状況（資料 45-2、資料 45-3～45-9）
 - 1). 松田委員から[資料 45-2]に基づき報告があった。
 - ・ 7名から原稿が寄せられた[資料 45-3]～[資料 45-9]。
- ③ 記念誌取材記事の確認について(気づき事項)
 - 1). 記念誌取材記事の確認について、ほぼ確認作業は終了した。
 - 2). 各委員も目を通していただき、気がついた点があったら報告してほしい旨、要請があった。
- ④ 「年代記」の校閲状況
 - 1). 編纂室を中心に校閲を行ってきた。この度、第1章と第2章のデザイン初校ができ上がった(資料 45-11)。小山委員、片山委員は第1章の校閲を、新関委員、山崎委員は第2章の校閲を担当していただく。また、第3章ならびに第4章のゲラ校が届き次第、大町委員、奥山委員は第3章を、神戸委員、結城委員は第4章を校閲していただく(資料 45-10 参照)。
 - 2). Column①において、農務省千住製絨所の所長になった年は明治三十九年では無く、三十五年であったこと、東北農科大学では無く、東北帝国大学農科大学であること、また、本学学長になった時は農商務技師では無く、特許局技師であるなどの指摘があった。
 - 3). 61 ページの写真説明文中「ナデラ山」は「斜平山」である旨指摘があった。この他にも各委員はゲラ校に目を通していただき、気がついた点があったら報告してほしい旨、要請があった。
- ⑤ (株)ぎょうせいの進捗状況について細谷氏から台割表[資料 45-12]に基づき説明があった。締め切りが近づいているので、鋭意進めたい旨、報告があった。
- ⑥ 「百人の声」のデザイン版組[資料 45-13]の見本について説明があった。
 - 1). 字が小さいのではないかという指摘があった。字を大きくしても行間を詰めることで、頁数に与える影響は小さいであろうとの意見が出された。
 - 2). タイトルの無い原稿は、どうしたら良いか、という質問があった。
 - 3). 卒業年次の記載書式や経歴などが統一されていないので、統一するよう要請があった。
 - 4). 各委員はゲラ校に目を通していただき、気がついた点があったら報告してほしい旨、要請があった。

2. 100年史

- ① 今月の話題について奥山委員から[資料 45-14]に基づき報告があった。
- ② 部局史の進捗状況

- ③ 小室編集局員から通史の執筆進捗状況について、資料 45-15 に基づき説明があった。
 - 1). 第 1 章、第 2 章、第 6 章、第 7 章、第 8 章、第 9 章は執筆が完了した。
 - 2). 第 3 章は執筆中、第 4 章、第 5 章は執筆準備中である。
 - 3). 第 12 章は高橋辰宏副学部長から第 1 校を受領した。

III) その他

- 1. 100 周年記念誌の広告掲載について
 - ① 中小企業基盤整備機構から 100 周年記念誌へ広告を掲載したい旨、申し出があった。
 - ② 協議の結果、100 周年記念誌には広告はふさわしくないという結論になった。中小企業基盤整備機構が広告を含めて記念誌への援助をしたい場合は、郵送する場合、パンフレットを同封するなど、別の対応を考えることとする。
- 2. 次回の部会について
次回の会議は 2 月 24 日 (水) 15 時 00 分から 第 1 応接室(予定) で開催の予定。

2010 年 3 月 5 日